

## 28 年度一般財団法人日本拳法全国連盟第 1 回役員会議事録

事務局より出席者の確認と議題の確認があり、会長に議事進行が任された。

### 議題 1. 決算報告

- ・ 経理局長より資料が提出され説明があった。
- ・ 3 月の決算予想と少し差異がある旨報告があった。
- ・ 決算報告は異議なく承認された。

### 議題 2. 日体協加盟について

- ・ 6 月に合同大会が開催された。
- ・ 現在坂本事務所より出された日体協加盟の新しいスケジュールにより進められている。
- ・ 日体協は加盟後の団体の永続性も考慮し加盟のハードルが少し上がっている。  
その為、法人格を取り財務状況や事業報告を出来る事が望ましいとの事。
- ・ 一般社団法人で団体設立へ  
定款、役員構成、運営資金等の素案が茂野会長、田中次長、NPO 萩原氏、坂本事務所稲葉氏で進められている
- ・ 今後は素案ができれば設立役員の 6 名を入れて 10 名での意見交換としていく
- ・ 日体協は、既存団体の利用ではなく新しい社団法人設立を推奨している
- ・ 対全拳連問題について。全拳連が実体のない団体であることは日体協も把握している。
- ・ 会長より県大会パンフレットに県連盟所属の団体名を明記するように指示が有った。
- ・ 今後の合同大会については東京都連盟できっちりとしたスキームを考えてもらいたい。
- ・ 合同大会の有無、開催方法が話し合われたが  
結果：次年度も合同大会を開催することが議決された。
- ・ 会長より今後の資料として各都道府県での大会運営に関しての資金内容の問い合わせがあり各々都道府県代表の回答があった。
- ・ 日本拳法の各団体が同ルールで開催することが重要でありその為、昇段審議会規約・競技規則をホームページに掲載していく。

### 議題 3. 基本の統一について

- ・ 昨年 9 月に全国連盟での基本の統一が提案され三本部より 11 名が出席し 11/28、2/20、5/14 に豊橋市立武道館で話し合わせ、基本の統一が成された。
- ・ 教書を基本として話し合われた。
- ・ 海外に日本拳法が広まってきているので、ホームページに基本の映像を掲載し、正しく日本拳法が伝わるように発信していきたい。

### その他1. 国際部より活動報告

- ①8/18～9/25 パレスチナの研修生を受け入れた。大学、道場等で練習に参加させ 9/4 の拳法会の昇段試合に参加させた。
- ②初段、二段、三段受験を経験させて審査の結果二段を習得した。
- ③10月に1名研修生の受け入れがある
- ④海外役員に審判講習会を実施した。
- ⑤国際会議が開催され、
  - ・国際連盟が設立された。
  - ・国際連盟規約が決まった。
  - ・議長国は日本となった。
  - ・理事会が最終の議決機関である。
- ⑥次年度 5/13 にフランスで大会が開催される

### その他2. 総合選手権大会、都道府県対抗大会の報告

横谷実行委員長より開催に関するお礼があり本年度の事故報告があった。

肥田広報部長より運営に関する報告があった。

- ・本年度の運営は時間的にも構造的にも無理があったので次年度は選手の削減を考えていきたい旨報告があった。

◎ここで総合選手権大会開催と都道府県対顔大会の同時開催について議論が交わされた。

- 1、各都道府県連盟からの費用負担、選手の負担を考え同時開催が望ましい
- 2、総合選手権大会は日本拳法の最強選手を選ぶ権威ある大会として同時開催は望ましくない

の反する意見が議論され、別々に開催する事が望ましいと決議された。

結果：次年度の都道府県対抗大会は中部地区で開催する事、

又、合同選手権大会は関東地区で開催する事が決まった。

### その他3. 少年面について

中部日本本部より少年面作成の経緯と出来上がったものの試験報告、今後の使用計画が報告された。

- ・全国連盟で少年面を作る事が決議され、三本部で考案したが早川が作成に前向きでなかった事と全少連が全少連の問題であるとして加わらなかった事、全少連の中心である西日本が前向きに加わらなかった為、中部で新しいものを考案した。
- ・中部では販売が開始され本年度の中部総合選手権大会で少年全選手に装着させる
- ・費用に関しては中部で負担して全国連盟に運営譲渡したい。
- ・中部、関東では前向きに面着装に活動している

この報告に関する意見

- ・西日本も前向きに参画していきたい。
- ・今後全国連盟が統括運営して行く為にかかった費用は全国連盟で負担することが決議された。

#### その他4. サポーター委員会より報告

委員会より資料とサンプルが配布され説明があった。

- ・表足の保護（けがの防止）が目的であり、攻撃の道具ではない
- ・三本部で試作品を使用して意見徴収した結果は着装はほぼ賛成意見であったが着装は選手の任意での使用する事の意見が多かった。
- ・オーダーメイドは500セットの最低ロットで5000円/1セットかかる。
- ・同様の市販品が存在する。価格も1000円/1セット程度である
- ・同等の製品であれば足首が隠れる長さ、パッド部分は白色、パッド圧は5mm程度の条件として市販品で対応する。
- ・使用時期は三本部で決定し、次年度より適用したい
- ・対象は高校生、成人男女とする。
- ・審判団の意向としてサポーター、テーピング同様に試合前チェックを行い、脱落によるペナルティはグローブの場合と同様とする。

#### その他5. 徳大式防具について

- ・高校連盟より徳大式の防具が安全性に優れ、使い勝手が良い事が報告され今後使用していきたい旨報告があった。しかし徳大式の防具を購入する為には「全国連盟防具規格」の改善要望の賛同書が必要である。全国連盟において徳大式防具購入の為賛同書提出許可を貰いたい旨提案があった。
- ・事務局長より徳大式の案件は26年9月の全国連盟理事会で防具規定に沿った防具なら使用許可が決議されている旨報告があった。
- ・購入するために必要であれば賛同書の提出は問題ない事が決議された。

#### その他6. 審判団より報告

- ・現在ホームページで流れている審判の基本動作に外国語の字幕を入れていきたい。
- ・英語、フランス語、イタリア語、ロシア語等費用面を考慮し検討していく。

#### 出席者（敬称略、順不同）

【会長】茂野直久【副会長】犬塚矜哉、井上晴雄、山田正紀【昇段審議会議長】山田佑一、藤川義人、横谷茂雄、田中 誠、岩尾 勤、齋藤辰平、肥田玄三、大竹和美、高 信志、原 温、横山俊平、川原元則、野田健一、中村安治、上田武司、五十嵐愛作、松田 牧、 上杉恵三、山本隆造、香美秀一、上村公泰、浅井佳彦、水木智司（小泉賢一郎代理）、秋葉洋一（一ノ宮孝代理）、岩崎秀昭（千葉県）、市川明尋（静岡）、伊藤勝法（岐阜県）、  
【監事】佐藤賢治 【オブザーバー】相談役山田紀男

#### 議事録署名人

平成28年9月24日

山田正紀 印 横谷茂雄 印 田中 誠 印